※令和４年度以降入学生用

学校番号	3021

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	文学国語	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	文学国語　（大修館書店）						
副教材等	入試に出る漢字と語彙２４００　（旺文社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・1 年次では，基礎的な国語の力を身につけることに取り組みました。また，２年次では，文章を読んで深く共感し，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高めることに取り組みました。
・3 年次では，1・２年次に学んだ内容をさらに深化し，より幅広い内容の文章の読解に取り組むと同時に，内容を自らに置き換えて自分ごととして考え想像力を鍛えることを目標に学習に取り組みます。
・小説や随筆，詩歌など様々なジャンルの文章を「読むこと」，そして自らの体験や思いを「書くこと」そして他者に「伝えること」によって，言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めましょう。
・人生の大きな選択をする高校 3 年生の 1 年間に多くの文学に触れ，自らの人生をよりよいものにするためのヒントをつかんでください。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
(2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う 。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や記述の技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めている。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに，創造的に考える力を身に付け，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとしている 。

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	・翻訳の視点から日本の言語文化の特徴を捉える。 ・ドイツ語と日本語を比較することで，両者の文化や思考の特徴について考える。 ［教材］ 多和田葉子 『月の誤訳』	a:文学的な文章を読むことを通じて，わが国の言語文化の特質についての理解を深めている。 b:[読]作品内容や解釈を踏まえ，人間・自然・社会に対するものの感じ方，見方，考え方への考察を深めようとしている。 c：異なる文化を持つ他者に対する関心や理解を，積極的に持とうとする姿勢を育てている。	定期考査・語句や漢字の予習プリントにて記述の確認・分析	定期考査・まとめプリントや感想文にて記述の確認・分析	行動の観察及び提出物の点検・分析
	・詩のほか短歌，俳句など日本独自の韻文を味わう。 ・表現の特色や効果について理解する。 ［教材］ 萩原朔太郎『竹』 室生犀星『小景異情』 短歌十三首 俳句十五句	a:語り手の視点や場面設定，表現の特色について理解できている。 b:[書]身近な題材を用いて，短歌や口語自由詩を完成することができている。 c:読んだときの工夫を発表しあい，互いに意見を交流させつつ朗読している。	定期考査・語句や漢字の予習プリントにて記述の確認・分析	定期考査・まとめプリントや感想文にて記述の確認・分析	行動の観察及び提出物の点検・分析
	・登場人物の心情理解を通して，自己の生き方や他者と関わり方，テーマである「エゴイズム」について考える。 ・本格的な文学作品を読むことで，読解に必要な国語力と長い文章を読み切る体力を養う。 ［教材］ 夏目漱石 『こころ』	a:著者についての知識を持ち，日本近代文学史の流れを把握している。語句の意味や慣用句を，注や辞書を手掛かりに理解し，語彙を増やしている。 b:［読］作品のあらすじをつかんで各段落の内容と構成を理解し，場面の展開を簡潔にまとめられる。登場人物の関係や，Kに対する私の心理の推移を，場面展開に沿って理解している。 ［書］作品のテーマについての考えを，自身のものの見方や感じ方，考え方と比較して書きとめたり，感想文にまとめている。 c： 登場人物の行動の理由を読み取り，心情や情景を味わおうとしている。登場人物の心情を自分事として捉え，人生に生かそうとしている。	定期考査・語句や漢字の予習プリントにて記述の確認・分析	定期考査・まとめプリントや創作作品にて記述の確認・分析	行動の観察及び提出物の点検・分析
2学期	・幅広い視点からの文章を読み，わが国の言語文化の特質についての理解を深める。 ・外国人である作者のものの見方を通して，日本文化の特徴について考えを深める。 ［教材］ ドナルドキーン 『私の日本住居論』	a：外国人の視点で書かれた日本の家屋の特徴に関する文章を読み，普段何気なく接しているわが国の文化的特質を相対的に認識できている。 b：[読]作品の内容や解釈を踏まえ，人間・環境・歴史に関するものの見方・感じ方を深めることができている。 c:日本のアニメやゲームなど，海外でも人気の日本初のコンテンツにも，日本独自の感受性が流れていることを感じ取っている。	定期考査・語句や漢字の予習プリントにて記述の確認・分析	定期考査・まとめプリントや感想文にて記述の確認・分析	行動の観察及び提出物の点検・分析

※令和４年度以降入学生用

	・登場人物の感覚から，事物の多様な捉え方を知る。 ［教材］ 梶井基次郎 『檸檬』	a：難解な語句の意味や興味を持った表現などを，自ら調べて理解している。筆者や筆者が活躍した時代背景についての十分な知識を持っている。 b：[読]「私」の心理状態を想像し，「私」が好んでいるもの，嫌悪を感じているものを文章表現から具体的に理解している。筆者が檸檬を手に入れる前と後での気持ちの変化を的確にとらえて心情を説明できている。丸善に檸檬を置いてきた筆者の意図を正しく理解し，その後の筆者の気持ちの変化を正しく読み取っている。 ［書］自らの体験に基づいてショートストーリーを作成している。 c：作品に描かれた美的世界を十分に味わい，筆者の繊細な感性を読み取ろうとしている。回想描写と現実に戻っての描写の混在に着目しながら読み，この表現がどのような効果を生みだすか，深く考えようとしている。	定期考査・語句や漢字の予習プリントにて記述の確認・分析	定期考査・まとめプリントや感想文にて記述の確認・分析	行動の観察及び提出物の点検・分析
	・抽象的な文章を正確に読み取る ・筆者の体験に基づいた随想を通し新しい価値観や世界の見方を知る。 ［教材］ 堀江敏幸 『負の座標に向かって』	a:口語体の文体や各種比喩表現，語句の意味について適切に理解している。 b：[読]本文のさまざまな対比関係を整理し，その表現効果について考え説明している。筆者の色に対する考えを正確に読み取っている。 c：タイトルと第五段落の内容を対応させながら，自分の体験と関連付けて考えを深めようとしている。	定期考査・語句や漢字の予習プリントにて記述の確認・分析	定期考査・まとめプリントや感想文にて記述の確認・分析	行動の観察及び提出物の点検・分析
３学期	・言葉による世界の多様な捉え方に着目する ・自然と人間の関係における言語表現の魅力を味わう ［教材］ 平野啓一郎 『桜の中で，時が重なり合う』	a：筆者の主張と根拠を理解し，筆者の「桜」に対する独自の視点を捉えている。 b：[読]「時が重なり合う」という言葉が表す意味を理解し，筆者の「桜」に対する独自の視点が捉えられている。 c：筆者の考えをおおむね理解した上で，「桜」の美について自身の体験や生き方と関連付けて考えようとしている。	定期考査・語句や漢字の予習プリントにて記述の確認・分析	定期考査・まとめプリントや感想文にて記述の確認・分析	行動の観察及び提出物の点検・分析
	・日本文化についての感性豊かな言語表現を読み取る。 ・日本の伝統的な価値観やその変化について考える。 ［教材］ 谷崎潤一郎 『陰翳礼讃』	a：近代化の波のなかにあった当時の日本の文化についての知識を持っている。色彩や質感を表すオノマトペの工夫や効果について理解している。 b：[読]筆者の体験と「闇」の効果について十分理解し，その味わいを感じ取れている。西洋の文化との比較を理解し，日本人の美意識についてまとめることができている。 c：日本の伝統的な文化や価値観を理解し，それが現在においてどう生きているかについて考えを深めようとしている。	定期考査・語句や漢字の予習プリントにて記述の確認・分析	定期考査・まとめプリントや感想文にて記述の確認・分析	行動の観察及び提出物の点検・分析

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　０　　）時間

・書くこと　…　（　　３０　　）時間

・読むこと　…　（　　７５　　）時間